

「ぎょさい」令和六年度 加入実績見込み 一千五百六十五億円に

令和六年度は、加入計画を一千四百八十五億円と設定し、漁協・系統団体・行政の協力のもと推進を行ってきました。年度末では一千五百六十五億円の加入実績見込みであり、加入計画を八十億円ほど上回る見込みです。また、前年度実績に対しても六十五億円ほど上回る見込みとなっています。

漁業種類別に前年度と比べますと、一号漁業のこんぶで補償水準（共済限度額）が下降したことにより、五億五千万円減少する見込みです。二号漁業の漁船漁業では、小型合併、さんま棒受網等で休廃業や補償水準が下降したものの、ほたて貝桁網で補償水準が上昇したことで等により、四十一億二千万円増加、定置漁業では、一般大型定置で補償水準が上昇しましたが、秋さけ定置等で休廃業や補償水準が下降したこと等により一億円減少する見込みです。特定養殖共済では、こんぶで休廃業により一億八千万円減少、ほたて貝等で補償水準が上昇したことに加え、契約割合の引上げが図られたことにより、三十四億五千万円増加する見込みです。漁業施設共済では、養殖施設で三千万円増加し、秋さけ定置網では一部新規加入があったものの、休廃業があったことにより一億三千万円減少し、地域共済では九千万円減少する見込みです。

ぎょさい・積立ぶらすに対する漁業者のご理解はもとより、加入推進に携わった漁協関係者皆様のご協力に感謝申し上げます。

令和六年度 ぎょさい加入実績状況

金額単位：億円

項 目 区 分			本 年 度 計 画 A	1 月 末 実 績	2・3月中 加入見込	本 年 度 加入見込B	B／A (%)	前 年 度 実 績	
漁業 共 済	漁獲 共 済	1 号 漁 業		67.0	64.7	－	64.7	96	70.2
		2 号 漁 業	漁船漁業	842.0	247.5	641.3	888.8	105	847.6
			定置漁業	368.0	362.6	2.5	365.1	99	366.1
			小 計	1,210.0	610.1	643.8	1,253.9	103	1,213.7
		計		1,277.0	674.8	643.8	1,318.6	103	1,283.9
	特定養殖共済	藻 類		42.0	42.5	－	42.5	101	44.3
		貝 類 等		101.0	122.5	21.0	143.5	142	109.0
		計		143.0	165.0	21.0	186.0	130	153.3
	漁業施設共済	養 殖 施 設		10.0	10.1	－	10.1	101	9.8
		定 置 網		50.0	46.5	－	46.5	93	47.8
		計		60.0	56.6	－	56.6	94	57.6
	合 計			1,480.0	896.4	664.8	1,561.2	105	1,494.8
	地域共済(休漁補償)			5.0	3.9	－	3.9	78	4.8
總 合 計			1,485.0	900.3	664.8	1,565.1	105	1,499.6	
加 入 件 数			7,601	6,127	1,285	7,412	97	7,553	

漁獲共済の集団加入における件数は1集団1件、漁業施設共済の養殖施設における件数は幹縄1本当たり1件である（以下同様）。

令和6年度 ぎょさい支払実績状況

金額単位：億円

令和六年度共済金支払見込み

共済金の支払実績は、八十六億一千七百万円となる見込みです。前年度と比べます

と、一号漁業のこんぶで三億三千七百万円増加、漁船漁業ではほたて貝桁網、小型合併等で七億五千一百万円増加し、定置漁業では、秋さけ定置等で三億二千五百万円減少する見込みです。特定養殖共済では、こんぶで

一億五千三百万円減少し、ほたて貝等で一億六千四百万円増加する見込みです。漁業施設共済では九千九百万円増加し、合計では八億六千九百万円増加する見込みです。

区 分				項 目	1 月 末 支 払 額	2・3 月 中 支 払 見 込	本 年 度 支 払 見 込	前 年 度 支 払 額	
漁業共済	漁獲共済	1 号 漁 業			4.73	1.90	6.63	3.26	
		2 号 漁 船 業	ほ た て 貝 桁 網			5.38	17.52	22.90	5.25
			小 型 合 併			4.93	1.62	6.55	8.63
			い か 釣 り			1.36	0.03	1.39	0.39
			すけとうだら刺し網			1.08	—	1.08	0.76
			上 記 以 外 の 漁 船			1.82	1.09	2.91	12.29
			漁 船 計			14.57	20.26	34.83	27.32
		定 置 漁 業	さけ大型定置(秋)			29.14	6.62	35.76	38.04
			小 型 定 置			3.14	0.14	3.28	4.20
			上 記 以 外 の 定 置			0.49	0.36	0.85	0.90
			定 置 計			32.77	7.12	39.89	43.14
		小 計			47.34	27.38	74.72	70.46	
	計			52.07	29.28	81.35	73.72		
	特定養殖共済	藻 類			0.23	0.62	0.85	2.38	
		貝類等	ほ た て 貝 等			1.91	0.32	2.23	0.59
			上 記 以 外 の 養 殖			0.01	—	0.01	0.05
			貝 類 等 計			1.92	0.32	2.24	0.64
		計			2.15	0.94	3.09	3.02	
		漁業施設共済	養 殖 施 設			0.32	—	0.32	0.18
			定 置 網			1.35	—	1.35	0.50
			計			1.67	0.00	1.67	0.68
	合 計			55.89	30.22	86.11	77.42		
地域共済(休漁補償)				0.02	0.04	0.06	0.06		
総 合 計				55.91	30.26	86.17	77.48		
支 払 件 数				1,445	300	1,745	1,808		

積立ぶらすの引受・払戻見込みについて

引受実績は四千五百九件、漁業者積立申込金額で九十九億三千万円、前年度と比べますと件数では百四十六件減少、金額では五億三千七百万円増加する見込みです。定置漁業においてクロマガダロ特例措置により金額が伸長しました。

払戻実績では二千二百二十七件、百七十四億一千一百万円、前年度と比べますと件数で百九件、金額では十五億八千二百万円減少する見込みです。払戻については漁船漁業と定置漁業の金額が減少しました。

令和七年度の加入推進について

令和七年度の加入計画は、加入目標額を共済金額で一千五百十億円と定め、「継続契約における補償内容の充実(積立ぶらすとの

令和6年度 積立ぶらす引受・払戻の実績状況

1. 引受実績表

金額単位：億円

項目 区分			1月末実績		2・3月中実績見込		本年度実績見込		前年度実績	
			件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
漁獲 共済	1	号 漁 業	59	2.75	-	-	59	2.75	59	2.91
	2号漁業	漁 船 漁 業	1,203	8.72	932	15.70	2,135	24.42	2,205	23.31
		定 置 漁 業	820	64.13	43	0.14	863	64.27	891	60.25
		小 計	2,023	72.85	975	15.84	2,998	88.69	3,096	83.56
	計		2,082	75.60	975	15.84	3,057	91.44	3,155	86.47
共特定 養殖	藻 類		584	1.67	-	-	584	1.67	612	1.70
	貝 類 等		637	5.50	231	0.69	868	6.19	888	5.76
	計		1,221	7.17	231	0.69	1,452	7.86	1,500	7.46
合 計			3,303	82.77	1,206	16.53	4,509	99.30	4,655	93.93

金額は、漁業者積立申込金額である。

2. 払戻実績表

金額単位：億円

項目 区分			1月末実績		2・3月中実績見込		本年度実績見込		前年度実績	
			件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
漁獲 共済	1	号 漁 業	29	2.45	18	1.30	47	3.75	34	7.45
	2号漁業	漁 船 漁 業	738	14.42	145	14.97	883	29.39	1,006	34.05
		定 置 漁 業	563	114.74	97	19.35	660	134.09	709	142.53
		小 計	1,301	129.16	242	34.32	1,543	163.48	1,715	176.58
	計		1,330	131.61	260	35.62	1,590	167.23	1,749	184.03
共特定 養殖	藻 類		117	0.90	62	0.35	179	1.25	339	3.50
	貝 類 等		318	4.74	40	0.89	358	5.63	148	2.40
	計		435	5.64	102	1.24	537	6.88	487	5.90
合 計			1,765	137.25	362	36.86	2,127	※ 174.11	2,236	189.93

金額は、払戻補てん金（漁業者1：国3）の合計である。

※新型コロナウイルスの影響に伴う特例措置による積立免除金額1,234万円を含む。

セツト加入」、「未加入となっている主要漁業・養殖業の解消」、「定置漁具（漁業施設共済）の加入拡大」の三点を重点推進事項とし、依然として厳しい漁業環境により補償水準の低下が懸念される中において、漁業経営のセーフティネットとして「ぎよさい・積立ぶらす」がその機能を十分に発揮できるよう漁協・系統団体・行政と連携し、漁業実態の変化に則した加入推進に取り組むこととし、一層の浸透・定着を図って参ります。また、国は水産基本計画等に基づき、TAC魚種の拡大やIQ管理の導入を図ると同時に、海洋環境の変化に対応した漁業の複合化を推進するとしており、「ぎよさい」制度においても「複数の漁業等の種類を対象とできる契約方式の創設」等の改正を目指すとのことから、その動向を注視しながら三点の重点推進事項を中心に事業を展開して参ります。

尚、令和六年度の事業概況及び令和七年度の事業計画（案）の詳細については、各地区で開催される組合長会議で詳しく説明をすることにしております。

ぎょさい
積立ぶらす

安心

経営

